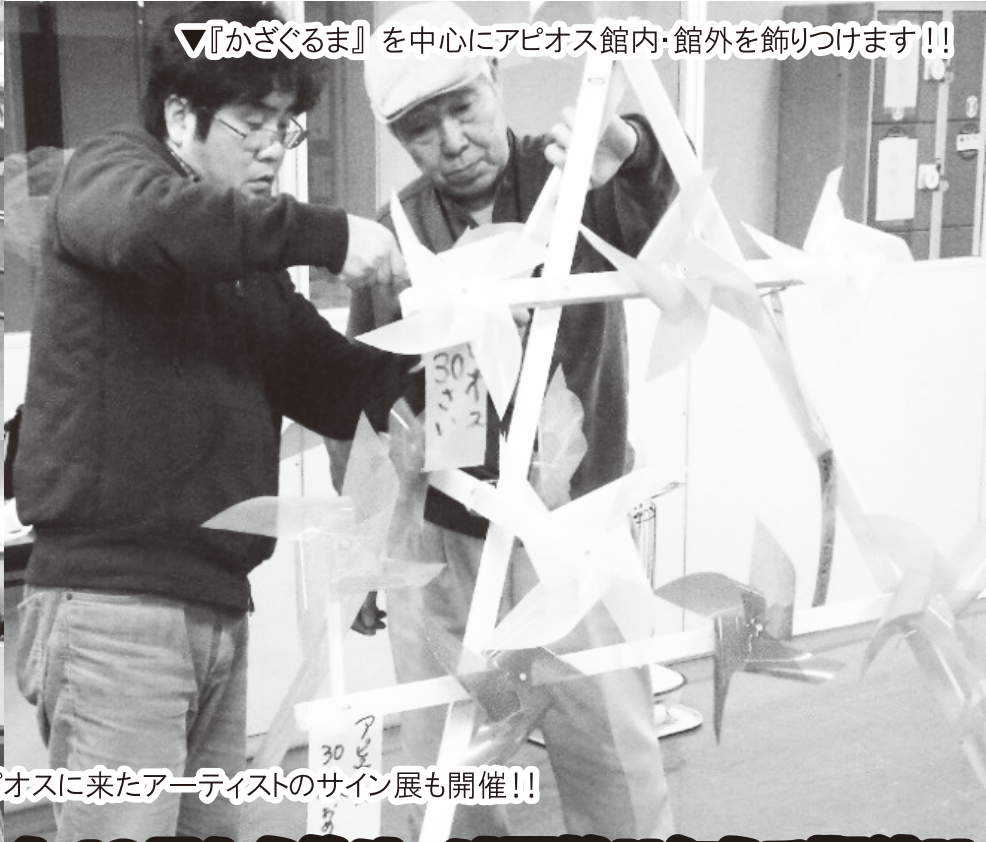


アピオス30歳&みの〜れ10歳、『装飾』でも盛り上げます!!



▽『かざぐるま』を中心にアピオス館内・館外を飾りつけます!!

◀今までアピオスに来たアーティストのサイン展も開催!!



アピオスもみの〜れも10月から飾りつけ開始!! 乞うご期待!!



みの〜れ10歳記念事業『折り鶴で巨大な龍をつくらう!』では、折り紙に未来への願いを込めて着々と折り鶴が届いています! 「どうして黒い鶴なの?」と不思議がる“放課後子どもプラン”の子どもたち。「これは龍のウロコになるんだよ」という説明を受けながら折ってくれました。「近所のおばあちゃんもいつもたくさん折ってくれてます」と言って折り鶴を持ってきてくれる人。折り鶴で人の輪がどんどん広がっています。多くの方々の協力で着々と10万羽に迫っています。10月7日の完成が本当に楽しみです。<みのんば編集部 小原 エミ>

みの〜れ10歳記念事業 オリジナル住民ミュージカル
タイトル決定!!!!!!

その名も 『未来ロケット』

9月1日(土)、チケット発売!! 詳細は次号および今後発行のチラシにて!!

【あらすじ】
天才科学者 Mr.ロベルトがついに未来への旅行を実現!? 十年に一度の祭典「星のカーニバル」までには戻ると言い残し、タイムロケットに乗り込む Mr.ロベルト。いざ出発というとき、けたたましい音と煙に包まれたタイムロケットの中に、Mr.ロベルトの姿は無く、行き着いた先は誰も知らないもう1つの世界だった…。みの〜れ誕生から十年の間に起きた数々の奇蹟をモチーフにして生まれたこの物語。小さなお子さまからご年配の方まで3世代揃ってお楽しみいただける夢と希望を織り込んだファンタジーミュージカル。

REPORT みの〜れ10歳を祝して!!
「Jolly forest Jazz orchestra 3rd LIVE」

みの〜れ誕生の翌年、50年続く楽団を目標に「地域の楽団」として誕生したジョリフォレ。「～(山あり谷あり)」を乗り越え、3回目となる単独ライブを行いました。「地域の中で素人の皆さんがここまでやれるとは、自分も楽器をやってみたくなりました」と初めて観に来たというお客様が語ってくれました。演奏者も「お客様がたくさん来てくれホッとしました。4月に入団した新メンバーもステージに立つことができました。多くのスタッフに支えられていることに感謝します」。ジョリフォレもさらなるレベルアップを目指し、ホールだけでなく地域の中でも演奏を聴かせるでしょう。<みのんば編集部 福島 ヤヨヒ>



2012.6.24 Minole

REPORT 白熱のテープ審査!!
「おやじバンドコンテスト出場者決定!!」

出場希望者のテープ審査が6月26日に行われました。今年は過去最多の応募があり、遠く山梨県や東京都で活動しているグループもありました。これを10グループ以下に絞り込まなければならない。昨年より応募が増え、本番出場はより狭き門となりました。応募バンドのレベルは高く、審査得票数が同点となるバンドが出たため、審査員の議論の結果、投票で決めることに! しかし、その投票も同点。最後は実行委員長である私が決定することに…。責任の重さに身が震えた感覚を今でも覚えています。このようにして選ばれたバンドの競演。本公演は9月23日(日)。今から本当にドキドキします。<みのんば編集部 貝塚 勇>



- 出場バンド (五十音順)
- ◆アルペジオ
 - ◆YES BAND
 - ◆Irreguler clump
 - ◆Gush
 - ◆THEe-ROX
 - ◆750cc
 - ◆Metavorix

8月12日(日)、整理券配布開始!!

REPORT テーマは“劇場体験”!!
「学校芸術鑑賞事業(小学校の部)」

市内の小学校に通う6年生の皆さん、7月4日に行われた学校芸術鑑賞事業はいかがでしたか? 皆さんは劇場体験が立派に出来ました。アーティストの誘いにバッチリのとっていけるリズム隊でした。堅倉小学校の男の子が舞台上に上がることにもなりましたが、勇気を持って見事にこなし、それを応援する皆さんの姿もとても素晴らしかったです。森のホールいっぱい響いた570名全員での大合奏も感激しました。皆さんがみの〜れに足を運んでくれることを心待ちにしています。気軽に遊びに来てくださいね。<みのんば編集部 野手 利江>



2012.7.4 Minole

REPORT C.C.C.で子どもたちのための朗読会
「願いごといっぱい、夢いっぱい」

コスモス来館3度目となる水戸芸術館専属劇団ACM。今回は七夕にちなんで「願いごといっぱい、夢いっぱい!」と題した子どもたちのための朗読会を開催しました。ロビーには笹が飾られ、来館した子どもたちがそれぞれに「願いごと」や「夢」を書いた短冊をくくりつけました。朗読会とはいえ、出演者はプロの劇団。台本を持たず、動いて語って叫び…そのパフォーマンスに子どもたちは笑い、大人たちは感動していました。「子どもだけでなく、大人にも物語の世界に浸って欲しい」そう改めて感じ、また来年も朗読会を企画してほしいと思いました!
<みのんば編集部 小松崎 由美子>



2012.7.7 Cosmos